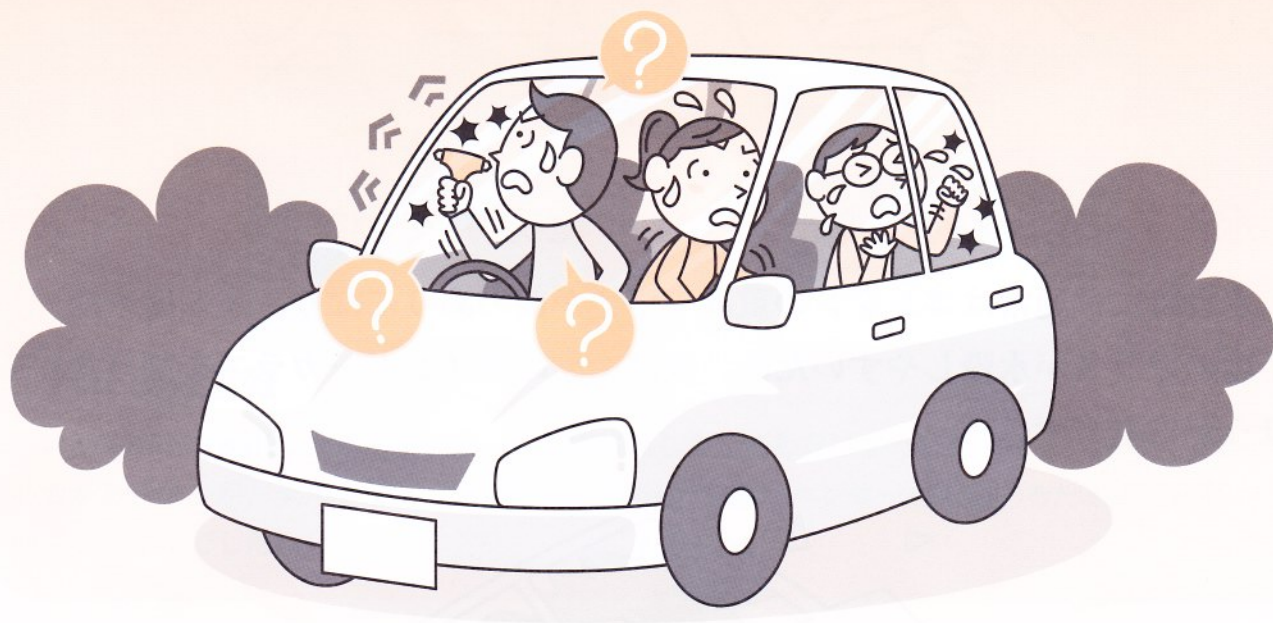
くらしの危険 Number 317

ウインドーガラスを割れない自動車用緊急脱出ハンマーにご注意

　自動車用緊急脱出ハンマーは交通事故や水没事故などで車内に閉じ込められたときに、ウインドーガラスを割って車外に緊急脱出するために有効な商品です。

　しかし、入手可能な自動車用緊急脱出ハンマーについて、ウインドーガラスの破砕性能をテストしたところ、テストした商品の中にウインドーガラスを破砕できないものがありました。そのため、商品の選択には注意が必要です。

自動車用緊急脱出ハンマーとは

　自動車用緊急脱出ハンマーには、本体のグリップ部を金づちのように握って使用する「金づちタイプ」や、グリップ部をピックのように握って使用する「ピックタイプ」、ヘッド部をウインドーガラスに押し当てて使用する「ポンチタイプ」があります。

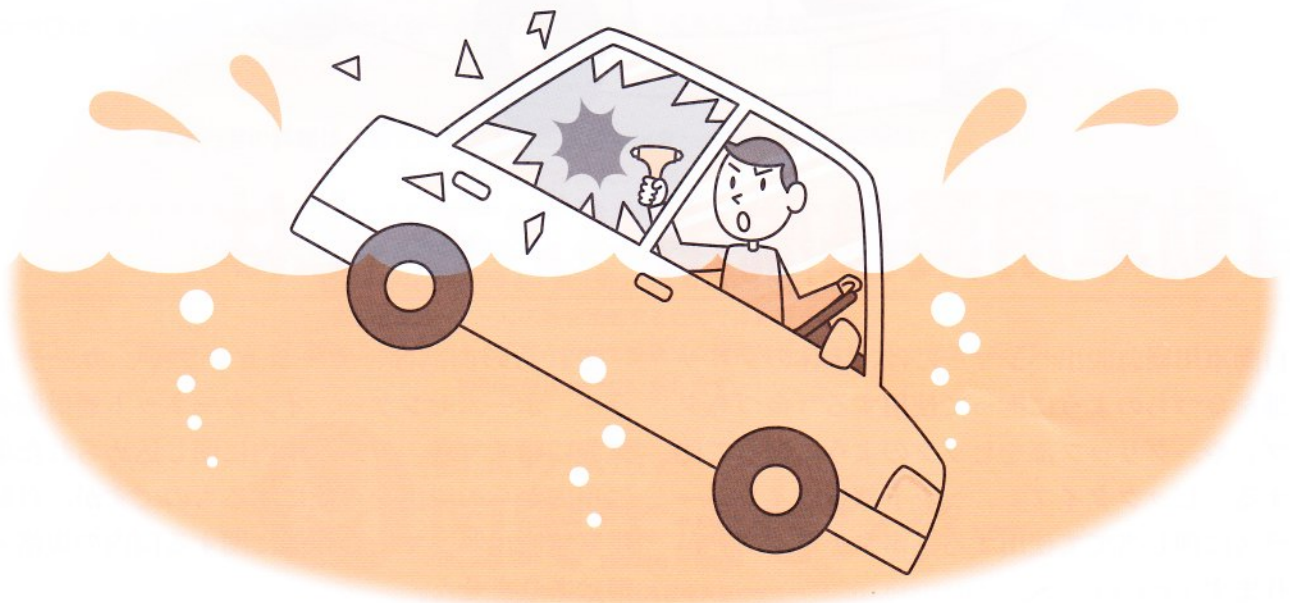
　これらの商品は、カーショップや、カーディーラー、ホームセンター、インターネット通信販売で気軽に購入でき、万が一車内に閉じ込められた場合に車内からの脱出を可能にするものですが、自動車用緊急脱出ハンマーの性能に関する国内の規格・基準はありません。

自動車用緊急脱出ハンマー使用上の注意点

①フロントガラスからは脱出できません。

自動車のフロントガラスは合わせガラスのため、自動車用緊急脱出ハンマーで破砕しようとしてもヒビが入る程度で破砕できず、車外に脱出できません。破砕する箇所は側面のウインドーガラスの隅がよく、全面にヒビが入って容易に破砕することができます。

②水没時には、後部座席側を割った方が安全です。

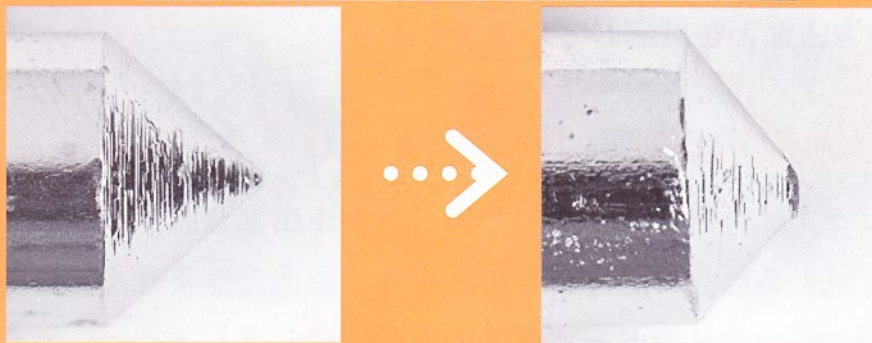
水没時には通常はエンジンの重みで車体が前のめりになり、運転席や助手席のガラスが水没しやすいため、後部座席のウインドーガラスを割ったほうが安全です。

ウインドーガラスの破砕性能テストを行いました

テスト結果

現在のところ国内には自動車用緊急脱出ハンマーの性能に関する規格・基準はありません。そこで、ドイツのGS マーク認証試験に準じて、熟練した技術者※が座席に座り、実際にウインドーガラス（窓が閉まった状態）を破砕するテストを行ったところ、3回以内でウインドーガラスを破砕することができないものが19銘柄中5銘柄ありました。これら5銘柄は、テスト後に先端部が潰れていました。

※自動車用緊急脱出ハンマーによるウインドーガラス破砕性能テストについて、第三者機関で一定以上のウインドーガラス破砕や試験技術を有していると認められた者。

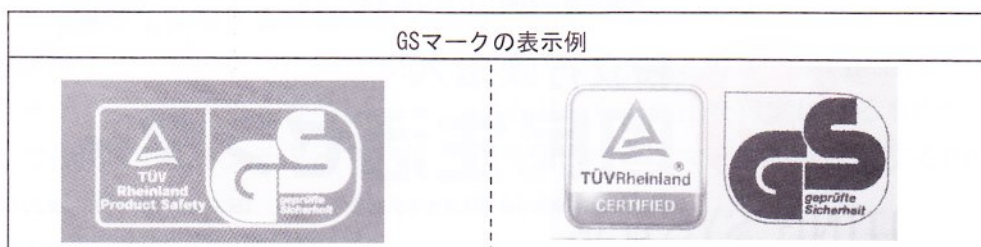
ウインドーガラス粉砕性能テストの様子

自動車用緊急脱出ハンマーのヘッド先端部が潰れた例

テスト関連情報

自動車用緊急脱出ハンマーが衝撃や振動で移動してしまわないように車内にしっかりと固定する必要がありますが、テストを行った19銘柄中6銘柄の商品でハンマーを固定するための付属品がついていませんでした。

※GSマークとは

GS マークはドイツ国内の任意の認証マークであり、ドイツの製品安全法（ProdSG 法）にもとづいて検査され、安全性が認証された製品に付けられるものです。取得が義務づけられているものではありませんが、“安全性確認済”を意味しています。

GSマークの表示例

＊GS マーク認証機関「テュフ ラインランド ジャパン㈱」のホームページから一部抜粋、改編した。

緊急時に慌てずに車内から脱出するために

1 確実にウインドーガラスを破砕できるものを購入しておきましょう

市販品の中にはウインドーガラスを破砕できなかったものがありました。緊急時に備えて、ＧＳマークがついているかどうか等を参考にして、確実にウインドーガラスを破砕できる自動車用緊急脱出ハンマーを購入しておきましょう。

2 運転手の手が確実に届くわかりやすい場所に設置しましょう

必要なときに自動車用緊急脱出ハンマーを的確に手に取れるよう、運転手の手が確実に届くわかりやすい場所に設置しましょう。

3 取扱説明書を事前によく読んで使用方法などを理解しておきましょう

緊急時に使用方法がわからなくては、自動車用緊急脱出ハンマーを車内に設置していても性能を発揮できません。いざというときに備えて、取扱説明書を事前によく読んで使用方法などを理解しておきましょう。

4 車外に脱出する際は側面のウインドーガラスの隅を破砕しましょう

フロントガラスは合わせガラスのため、自動車用緊急脱出ハンマーで破砕しようとしてもヒビが入る程度で破砕できず、車外に脱出できません。緊急時に車外に脱出する際は、側面のウインドーガラスの隅を破砕しましょう。

●本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。
http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html

●本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。
http://www.kokusen.go.jp/

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、
被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。
特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。
商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1　TEL.042(758)3165
●2014年2月発行

イラスト＝川崎　敏郎